

データベースのアップグレード手順

対象バージョン: SSC3.3~3.6

本手順は、SigmaSystemCenter 3.3 / 3.4 / 3.5 / 3.6で使用しているデータベースをSQL Server 2014へアップグレードする手順について記載しています。

アップグレードの対象となるのは、SQL Serverで作成されたDeploymentManager、SystemProvisioning、SystemMonitor性能監視の各インスタンスです。

本手順書では、以下のケースを対象としています。

<バージョンのアップグレード>

旧バージョンのSigmaSystemCenterで、SQL Server 2008 R2、およびSQL Server 2012を使用されていた場合は、SigmaSystemCenterのバージョンアップが完了した後に、既存のSQL Serverインスタンスをアップグレードしてください。

アップグレード元	アップグレード先
SQL Server 2008 R2	SQL Server 2014
SQL Server 2012	SQL Server 2014

<エディションのアップグレード>

SigmaSystemCenter 3.4、3.5では、デフォルトでSQL Server 2014 Expressがインストールされます。本手順を参照してアップグレードしてください。

アップグレード元	アップグレード先
SQL Server 2014 Express	SQL Server 2014上位エディション

1. 事前準備

アップグレードする前の SQL Server (SQL Server 2008 R2、または SQL Server 2012) に修正プログラムや最新の Service Pack が適用されていることを確認してください。Service Pack が適用されていない状態でアップグレードを実施すると、SQL Server 2014 へのアップグレードが中断されてしまい、正しく完了することができません。

また、SQL Server 2014 Express にアップグレードする場合は、アップグレードを開始する前に.NET Framework 3.5 SP1 (.NET Framework 3.5 SP1 日本語 Language Pack 含む)、および.NET Framework 4 (.NET Framework 4 日本語 Language Pack 含む) をインストールしてください。SQL Server 2014 上位エディションにアップグレードする場合は、アップグレードを開始する前に.NET Framework 3.5 SP1 (.NET Framework 3.5 SP1 日本語 Language Pack 含む) をインストールしてください。.NET Framework 4 については、インストール媒体に同梱されており、自動でインストールされるため、事前にインストールする必要はありません。

注: Windows Server 2012、および Windows Server 2012 R2 で、.NET Framework 3.5 SP1 をインストールする場合は、サーバーマネージャの「役割と機能の追加」ウィザードからインストールしてください。

- ・「機能の選択」画面で [.NET Framework 3.5 Features] チェックボックスをオンにしてください。
 - ・「インストールオプションの確認」画面の [代替ソースパスの指定] をクリックしてください。
「代替ソースパスの指定」画面が表示されますので、[パス] に Windows Server 2012、または Windows Server 2012 R2 インストールメディアのサイドバイサイドストア(SxS) フォルダを指定してください。
-

2. DeploymentManager 、 SystemProvisioning 、 SystemMonitor 性能監視のデータベースをアップグレード するには

DeploymentManager、SystemProvisioning、SystemMonitor 性能監視のデータベースのアップグレードを行います。以下の節の順番でアップグレードを実施してください。

2.1. DeploymentManager 、 SystemProvisioning 、 SystemMonitor 性 能監視のサービスの停止

以下の順番でサービスを停止してください。

- ◆ System Monitor Performance Monitoring Service
- ◆ PVMService
- ◆ DeploymentManager API Service
- ◆ DeploymentManager Backup/Restore Management
- ◆ DeploymentManager Get Client Information
- ◆ DeploymentManager PXE Management
- ◆ DeploymentManager PXE Mtftp
- ◆ DeploymentManager Remote Update Service
- ◆ DeploymentManager Schedule Management
- ◆ DeploymentManager Transfer Management

2.2. SQL Server 2014 へのアップグレードインストール

DeploymentManager、SystemProvisioning、および SystemMonitor 性能監視のインスタンス名は、それぞれ「DPMDB1」(既定値) と「SSCCMDB」(既定値) です。各インスタンスを SQL Server 2014 へアップグレードするには、以下に従って実施してください。

- ◆ SQL Server 2014 へアップグレードするには
[https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ms144267\(v=sql.120\).aspx](https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ms144267(v=sql.120).aspx)
- ◆ SQL Server 2014 のエディションアップグレードをするには
[https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/31d16820-d126-4c57-82cc-27701e4091bc\(v=sql.120\)](https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/31d16820-d126-4c57-82cc-27701e4091bc(v=sql.120))

注: SQL Server 2014 へアップグレードインストールを実施する前に、以下を参照して注意事項を確認してください。

- 「3.1 64 ビット版 OS にて SQL Server 2014 を使用する場合の注意事項」
 - 「3.2 SQL Server 2008 R2 から SQL Server 2014 にアップグレードする場合の注意事項」
-

2.3. 修正プログラム、Service Pack の適用

以下のいずれかの方法で、アップグレードした SQL Server インスタンスに修正プログラムや Service Pack を適用してください。

- ◆ Windows Update を実行し、対象の SQL Server インスタンスに対して適用可能なすべての修正プログラムや Service Pack を適用します。
- ◆ SQL Server の修正プログラムや Service Pack をダウンロードし、対象のインスタンスに適用します。

2.4. DeploymentManager 、 SystemProvisioning 、 SystemMonitor 性能監視のサービスの開始

本手順「2.1 DeploymentManager、SystemProvisioning、SystemMonitor 性能監視のサービスの停止」で停止したサービスを開始してください。

以上で SQL Server 2014 へのアップグレードは完了です。

3. 補足・注意事項

3.1. 64 ビット版 OS にて SQL Server 2014 を使用する場合の注意事項

64 ビット版 OS にて SQL Server 2014 にアップグレードする場合、以下の点に注意してください。

- ◆ アップグレード元の SQL Server のアーキテクチャ (x86、または x64) を確認して、適切な SQL Server 2014 のインストールメディアを使用してください。

3.2. SQL Server 2008 R2 から SQL Server 2014 にアップグレードする場合の注意事項

アップグレード元が SQL Server 2008 R2 の場合、SQL Server 2014 にアップグレードする前に、以下の手順で Microsoft SQL Server 2012 Native Client をアンインストールしてください。

1. コントロールパネルより、[プログラムのアンインストール] をクリックします。
2. [Microsoft SQL Server 2012 Native Client] を選択して、[アンインストール] をクリックします。指示に従ってアンインストールを実施してください

作成日:2014/08/29
最終更新日:2017/05/16